

第四次川越市総合計画における将来人口推計について

1 目的

平成 25 年度に実施した将来人口推計を時点修正し、第四次川越市総合計画に利用する将来人口を推計する。

2 推計方法

平成 27 (2015) 年 1 月 1 日現在の川越市住民基本台帳の人口を基にコーホート要因法で推計を実施した。

※コーホート要因法

コーホートとは、同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団のことで、コーホート要因法とは、各コーホートについて自然増減（出生・死亡）及び社会増減（転入・転出）という 2 つの人口が変動する要因のそれぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法。

3 推計期間

平成 27 (2015) 年から平成 72 (2060) 年までの 45 年間

4 推計概要

川越市の総人口は平成 30 (2018) 年に 350,744 人でピークを迎え、その後は減少に転じ、第四次川越市総合計画の最終年である平成 37 (2025) 年には 347,020 人となると推計された。

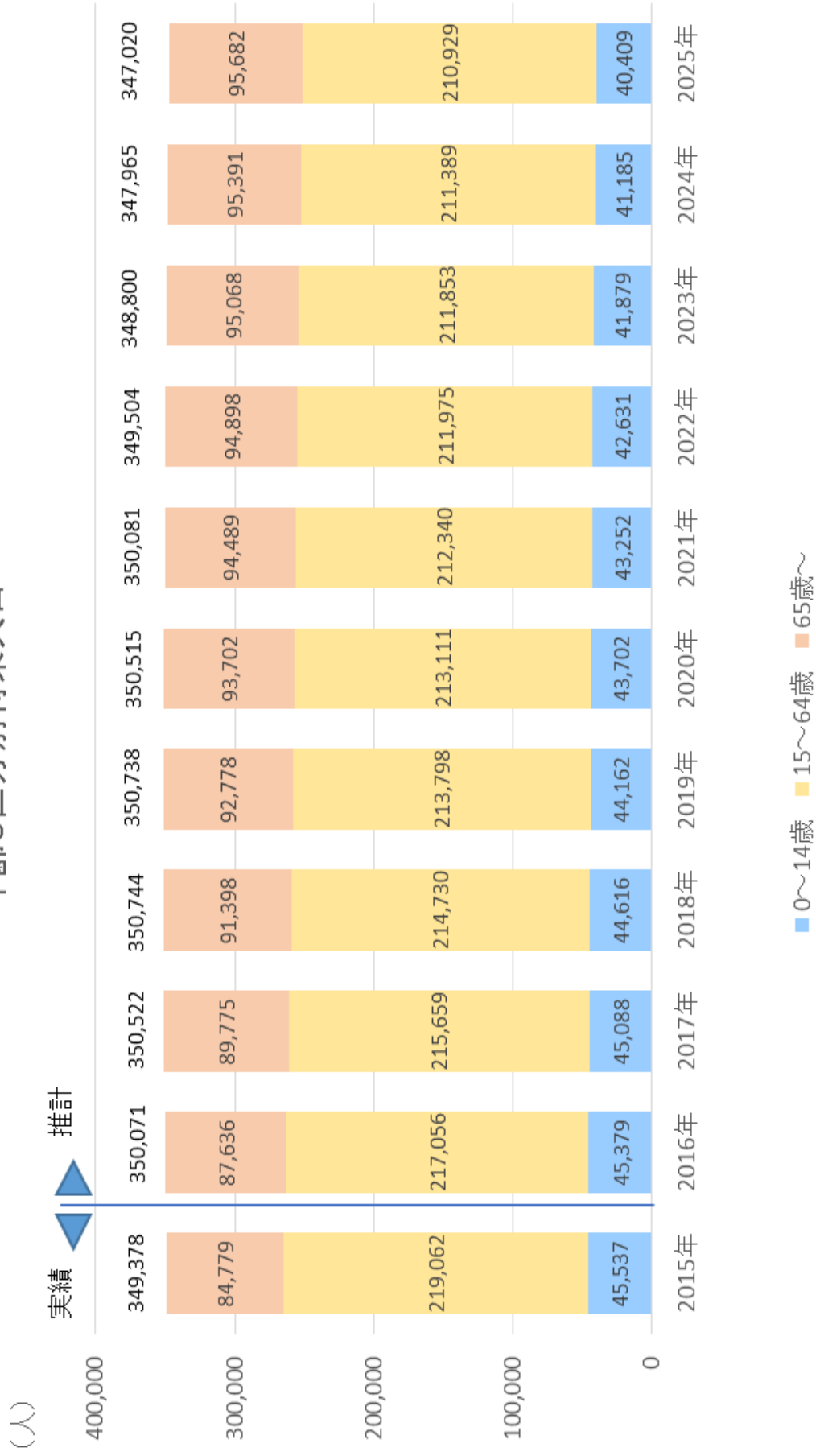
14 歳以下の年少人口は、平成 27 (2015) 年の 45,537 人が平成 37 (2025) 年には 40,409 人へと減少する。また、15 歳以上 65 歳未満の生産年齢人口も平成 27 (2015) 年の 219,062 人が平成 37 (2025) 年には 210,929 人へと減少する。

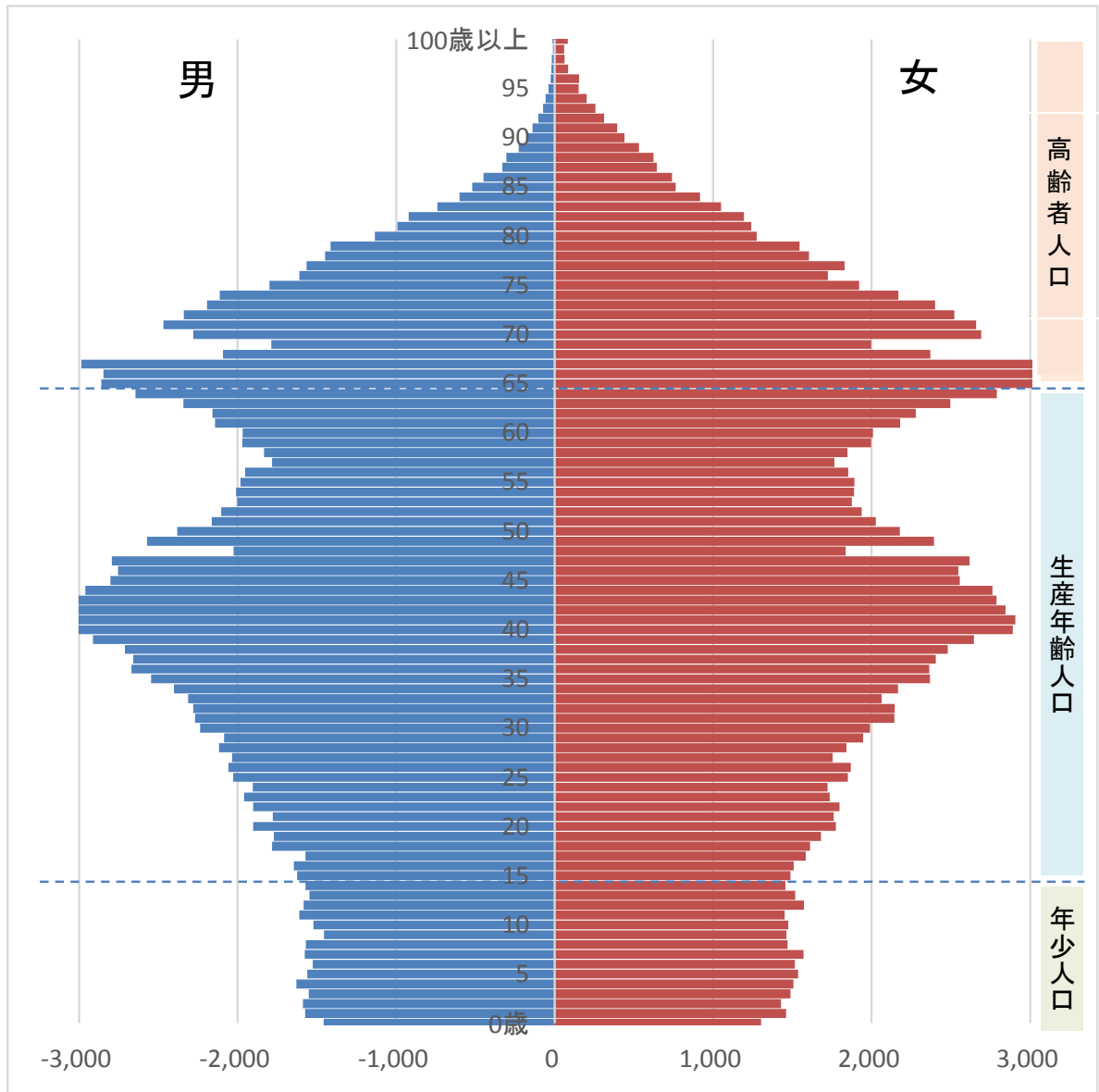
一方、65 歳以上の高齢者人口は、平成 27 (2015) 年の 84,779 人が平成 37 (2025) 年には 95,682 人へと増加することが推計された。

5 平成 25 年度に実施した推計結果との比較

	平成 25 年度推計	平成 27 年度推計
総人口ピーク	平成 29 年	平成 30 年
平成 37 (2025) 年総人口	342,151 人	347,020 人
年少人口	38,308 人	40,409 人
生産年齢人口	208,633 人	210,929 人
高齢者人口	95,210 人	95,682 人

年齢3区分別将来人口





年齢階層別人口（人口ピラミッド）平成 27 年 1 月 1 日

出典：川越市住民基本台帳

